

## 01

## 教育分野の国際協力に関するシンポジウム開催



1月31日のシンポジウムでのパネルディスカッションの様子。多くの参加者が耳を傾けた

1月31日、東京・市ヶ谷のJICA研究所で、シンポジウム「開発途上国における授業研究―教師と子どもの変容から見る成果と課題―」が開催され、学校関係者、開発コンサルタント、NGOなど約160人が参加した。JICA専門家によるポリビアの「学校教育の質向上プロジェクト」、ザンビアの「SMART E授業研究支援プロジェクト」の事例の紹介をもとに、日本特有のアプローチである「授業研究」について議論された。参加者からは「日本の授業研究が、JICAの支援によって途上国に伝わり、国ごとに模索しながら用いられていることは素晴らしい」との声が寄せられた。

また、3月14日には、教育協力NGOネットワークとJICAの主催、(財)ユネスコ・アジア

ア文化センターの共催で「教育における格差とガバナンス―EFAグローバルモニタリングレポート2009」が開催された。

EFAグローバルモニタリングレポートチームのユスフ・サイード氏の発表では、教育格差は正・質の向上に果たすガバナンスの役割の重要性が強調された。その後、JICAがニジェールで実施している「みんなの学校プロジェクト」、(特活)ACEがインドで行っている「子どもにやさしい村プロジェクト」の活動が紹介され、学校現場でのガバナンス改善に向けた取り組みについて議論が交わされた。

## 02

## 「甘楽富岡国際農村フォーラム」を開催

農業が盛んな群馬県甘楽富岡地域で技術研修を受けた後、開発途上国に赴いて支援活動に取り組んだ青年海外協力隊員が活動を報告するとともに、日本の農村の国際協力の在り方を考える「甘楽富岡国際農村フォーラム」が、2月21日に甘楽町で開催された(特活)自然塾寺子屋・甘楽富岡農村大学校主催、JICA共催)。住民やJICA関係者ら80人以上が参加した。

同地域では2003年より、地元農家の協力を得て、途上国の研修員や青年海外協力隊候補生を対象とする農業研修を実施している。08年9月には、地元農家を中心となり甘楽富岡農村大学校が発足、国際協力を地域活性化につなげている。

今回、帰国報告を行ったのは、06年に6カ月間にわたり農家のもとで研修を受けた後、途上国で野菜栽培の支援に当たった隊員6人。それぞれ現地での活動と甘楽富岡での研修がどう役立ったかを報告した。

その後、青年海外協力隊技術顧問の巨純吉・駒沢女子大学教授、白石義行・甘楽富岡農村大学校長、群馬県の清水千鶴・普及指導員、富岡市出身の加瀬晴子・JICA地球ひろば職員が、日本の農村の経験を生かした国際協力について意見交換。会場からも多くの発言があり、「人づくりに協力できるのはとてもうれしいし楽しい」「危機的な状況にある日本の農業や農村の活性化に、帰国した隊員を活用できる仕組みを」といった声も聞かれた。

## 03

## JICA地球ひろば「人間の安全保障展」開催

JICA地球ひろば体験ゾーンでは、5月31日まで、人間の安全保障展「世界の幸せと悲しみ〜今、世界が抱える問題と向き合おう〜」を開催しています。展示期間中、保健分野に関する連続セミナーも行います。

●「ニジェールのマラリア対策」COSAN(コザンII住民による保健委員会)とともに

日時 4月8日(水)18時半〜20時  
講師 國枝美佳・JICAニジェール・マラリア対策支援プロジェクト短期専門家

●「感染症から貧しい人々を救え!〜見えない脅威、中米シャーガス病への取り組みと人間の

安全保障〜」  
日時 4月19日(日)14時〜16時  
講師 山内志乃・元青年海外協力隊員 小田遼太郎・JICA人間開発部職員

●「生命のパスポート〜パレスチナの母子健康手帳〜」  
日時 5月15日(金)18時半〜20時  
講師 萩原明子・JICA国際協力専門員

会場 JICA地球ひろば(東京都渋谷区)  
開館時間 10時〜20時(土・日・祝日は18時まで。月曜日休館)  
問・申込 JICA地球ひろば地球案内デスク

TEL 0120-767278